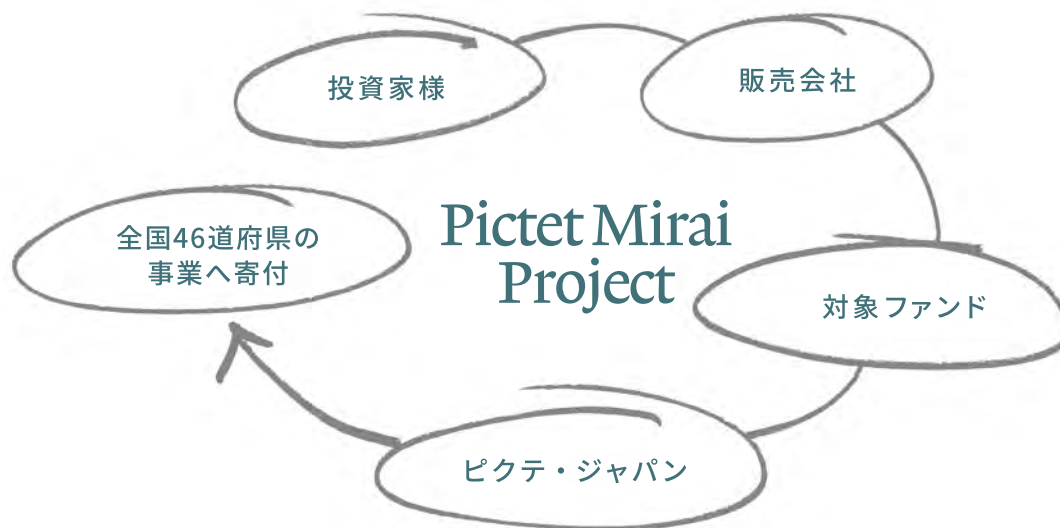


地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県^注の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



環境



教育



栄養



福祉



防災・復興

注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2022年は約5,280万円の寄付を行いました。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2023年2月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2022年度
寄付先事業例
栃木県



林業・木材産業の成長産業化。 森林資源の循環利用推進などに活用

とちぎ材の安定供給体制の構築（林業新規就業者の確保・育成）や、とちぎ材の新たな需要の創出（東京圏への渉外活動等）、森林被害対策の推進（獣害対策の促進）などにより、本格的な利用期を迎えたとちぎの豊富な森林資源の循環利用を図ることで、林業・木材産業の成長産業化を推進し、中山間地域等に雇用や活力を創出する。

寄付先事業例のイメージ



高校生を対象としたスマート林業体験会



東京圏における展示商談会への出展



新植した苗木への獣害防止ネット設置

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、
こちらをご覧ください。

